

From the  
People of Japan

## コンゴ民主共和国東部の紛争地域で、平和的かつ包摂的な選挙の実施を支援する（選挙支援プロジェクト）

\$ 予算: 2,005,816 米ドル



実施期間: 2023年4月 - 2024年4月

### 開発課題

コンゴ民主共和国では、ガバナンスの問題が大きく、特に注意を払う必要がある。これには、慢性的な治安の悪化、法の支配の限界、蔓延する汚職などが含まれる。コンゴ民主共和国は、領土や地下に大きな天然資源があるにもかかわらず、不安定な情勢が繰り返され、未開発のままであり、東部、特にイトゥリ州、北キヴ州、南キヴ州の治安情勢は非常に不安定である。2021年に当局によって包囲状態が宣言され、その結果、イトゥリと北キヴでは軍による統治責任の管理と政治活動の停止が行われた。

ヘイトスピーチや、部族主義、外国人嫌悪、性差別主義、女性差別主義的な意味合いのメッセージの拡散は、選挙をめぐる団結と社会的結束を脅かしている。ルワンダとの外交的緊張が高まる中、ヘイトスピーチはコンゴ当局と国連にとって大きな懸念である。包括的な環境の欠如もコンゴ民主共和国のガバナンス向上への課題である。女性は人口の52%を占めるが、経済的、政治的、社会文化的背景、治安の悪化、女性に対する暴力などにより、男女間の代表権の差は依然として大きい。また、若者は人口の約60%を占め、2018年の選挙では政治動員の最前線にいたにもかかわらず、統治機関における代表性は低い。

人権侵害の増加は、選挙前、選挙中、選挙後の暴力の原因となる可能性も示している。デモ参加者に対する不釣り合いな武力行使、脅迫、武装集団による攻撃、略奪、通信（インターネット）の遮断、表現の自由と情報を得る権利の阻害などが、最近報告されている。2023年の選挙がコンゴ民主共和国のガバナンスを前進させるきっかけとなるためには、選挙管理における透明性の向上、包摂、責任あるリーダーシップが必要であると関係者は表明した。

### プロジェクトの目的

このプロジェクトの全体的な目的は、2023年にコンゴ民主共和国で行われる平和的で包括的な選挙の実施に貢献し、選挙前、選挙中、選挙後の市民参加を強化し、紛争を防止することによって、平和と安定化を強化することである。

### プロジェクトの成果

東部の紛争地域で、2023年に平和的かつ包摂的な選挙が実施されるよう支援する。

東部における選挙前、選挙中、選挙後の紛争の予防と緩和の支援

### パートナーシップ

内務・治安・文化省  
独立国家選挙管理委員会（CENI）  
コンゴ国家警察（PNC）  
選挙セキュリティ技術グループ（GTSE）  
市民保護団体  
市民社会

### SDGsへの貢献

